

年度	2026年度	開講部局	生物生産学部		
講義コード	L6009010	科目区分	専門教育科目		
授業科目名	瀬戸内海の養殖水産物を学ぶ総合演習				
授業科目名 (フリガナ)	セトナイカイノヨウショクスイサンブツマナブソウゴウエンシュウ				
英文授業科目名	Practice on economic marine invertebrates and seaweeds in the Seto Inland Sea				
担当教員名	加藤 亜記,柴田 淳也,豊田 賢治,羽倉 義雄,和田 茂樹				
担当教員名 (フリガナ)	カトウ アキ,シバタ ジュンヤ,トヨタ ケンジ,ハグラ ヨシオ,ワダ シゲキ				
研究室の場所	水産実験所, 食品実習工場	内線番号	加藤: 6377 (東広島), 0846- 24-6781(水産実験所)		
E-mailアドレス	katoa@(加藤), swadasbm@(和田), hagura@(羽倉), toyotak@(豊田), jshiba@(柴田)				
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 後期 集中		
曜日・時限・講義室	(集) 集中				
授業の方法	演習	授業の方法 【詳細情報】	対面 オンラインでの提供は行わない		
単位	2	週時間		使用言語	J: 日本語
対象学生	1-4年生次				
学修の段階	3: 中級レベル				
学問分野(分野)	26: 生物・生命科学				
学問分野(分科)	01: 農学				
授業のキーワード	瀬戸内,栽培漁業,地域経済,食品加工				
教職専門科目		教科専門科目			
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ (学部生対象科目のみ)	「生物資源と食料生産,生物環境の保全に関する基礎的知識の修得」,「情報処理能力の修得」に相当する。				
到達度評価の評価項目 (学部生対象科目のみ)					
授業の目標・概要等	<p>本演習は、瀬戸内海に面した広島大学瀬戸内CN国際共同研究センター水産実験所（広島県竹原市）で実施されます。瀬戸内海は、沿岸域をおもな生息場とする魚介類の供給源として重要な海域で、沿岸漁業と養殖業が全国の生産量の約2割に相当します。また、総生産量および総生産額の両面で、沿岸漁業よりも、養殖業の貢献が全国に比べて大きいです。中でも、カキおよびノリ養殖の寄与が極めて大きく、両方で瀬戸内海の総養殖生産量の約9割を占めています。本演習では、おもに非魚類の有用水産生物として、カキやノリを含む、海産無脊椎動物や海藻の分類学、形態学、生理生態学の基礎について観察や分析により習得します。さらに、水産実験所近隣の、栽培漁業センター、カキやノリの養殖施設の見学および加工体験、食品工場での水産加工品の製造実習を行うことで、瀬戸内海的环境と生物の特徴、水産物の1次産業（増養殖）から2次産業（加工）までの理解を深めます。</p>				
授業計画	<p>1/19 (火) 14:00-14:40 受付・ガイダンス 15:00-16:10 養殖施設見学（広島県栽培漁業協会：種苗生産） 16:30-18:30 演習に関する課題学習</p> <p>1/20 (水) 8:30-10:00 講義「有用海藻の生物学」 10:00-12:00 実習「有用海藻の観察・同定・実験」 13:00-18:00 養殖施設見学（広島県福山市田島漁協：ノリ養殖） 18:00-19:00 発表スライドの作成</p> <p>1/21 (木) 9:00-10:00 講義「カキに関する話題提供」 10:30-11:30 養殖施設見学（広島県安芸津町安芸津漁協：カキ養殖） 13:00-15:00 実習「カキ等の観察および実験」 15:00-18:30 発表スライド作成</p> <p>1/22 (金) 8:00-8:30 水産実験所の清掃 9:30-12:00 レトルト食品製造講義・実習（広島大学統合生命科学研究所） 12:00-13:00 昼食・アンケート(広島大学統合生命科学研究所) 13:00-14:30 発表スライド作成・発表練習 14:30-16:00 発表会・まとめ</p>				

<p>授業計画</p>	<p>16:00- 解散</p> <p>成績評価の一部として、班に分かれて講義・実習・施設見学で学び、考えたことについて、パワーポイントスライドを作成し、班ごとに発表を行う。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大状況や天候等により、スケジュールや内容に変更がある可能性があります。</p>
<p>教科書・参考書等</p>	<p>適宜、資料を配布する</p>
<p>授業で使用するメディア・機器等</p>	<p>配付資料</p>
<p>【詳細情報】</p>	
<p>授業で取り入れる学習方法</p>	<p>ディスカッション, PBL ( Problem-based Learning ) / TBL ( Team-based Learning ), フィールドワーク / アンケート調査, 授業後レポート</p>
<p>予習・復習へのアドバイス</p>	<p>瀬戸内海域の地域文化・水産業について関心をもって、情報収集を事前にしておくこと。パソコンでのプレゼンテーション(スライド作成・提示)の操作に馴染んでいることが望ましい。</p>
<p>履修上の注意 受講条件等</p>	<p>実費：7,000円(授業期間中の食事費等を含む)を現地で徴収します。また、集合場所への旅費は自己負担です。      傷害保険・賠償保険：事前に学生教育研究災害傷害保険ならびに学研災付帯賠償責任保険(財団法人日本国際教育支援協会)に加入しておいてください。</p> <p>開始日時：1月19日(火)14:00(昼食を済ませておいてください)      開催場所：広島大学瀬戸内CN国際共同研究センターブルーイノベーション部門水産実験所      〒725-0024 広島県竹原市港町5-8-1      ホームページ <a href="http://fishlab.hiroshima-u.ac.jp">http://fishlab.hiroshima-u.ac.jp</a></p> <p>初日の集合場所は上記の水産実験所です。自家用車での水産実験所への集合は禁止します。      * 宿泊地は水産実験所、解散場所は東広島キャンパスです(下記参照)。最終日の朝、バス(こちらで手配)で、竹原から東広島へ移動します。      * 水産実験所から徒歩圏内(約10分)にコンビニエンスストアがあります。食事は、朝、昼、夕の3食こちらで手配します。</p> <p>解散場所：広島大学大学院統合生命科学研究科東広島キャンパス      〒739-8528広島県東広島市鏡山1-4-4      * 最終日の昼食後(16:00)に解散。東広島キャンパスからJR西条駅行きの路線バスが出ています(帰りのバスは各自負担)。  <a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima">https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima</a></p> <p>注意事項：水産実験所、東広島キャンパスともに全面禁煙です。屋内・屋外のいずれにも喫煙場所はありません。また、実習期間中の飲酒は厳禁です。これらが守れない受講者には単位認定しません。      天候等により、上記スケジュールに変更がある可能性があります。</p> <p>対象学生：生物学または水産学の基礎知識を持つ学生。      予習・復習へのアドバイス：日本や瀬戸内海の沿岸の生物や自然、漁業・養殖業について、情報収集を事前にしておくこと(参考：水産実験所 <a href="https://fishlab.hiroshima-u.ac.jp/">https://fishlab.hiroshima-u.ac.jp/</a>のサイドバーから「瀬戸内海の生き物」「実習・演習に関する学術用語の解説」)</p> <p>持ち物：マイナ保険証が資格確認書、釣具(釣り希望者のみ)、ノートPCなど、筆記用具、合羽または傘、洗面具、タオル、着替え、身の回り品、体調に不安のある人は飲み慣れた薬等      * 養殖施設・加工場の見学のため、服装は長袖、長ズボン、濡れたり汚れたりしてもかまわない靴が望ましいです。野外設備の見学があるので、雨天に備えて、合羽または傘を持参してください。      * 食品工場での実習では、髪の毛の長い人は、髪をまとめるヘアゴム等を持参してください。</p> <p>履修の辞退は原則できません。やむなく欠席する場合は、必ず広島大学生物学系総括支援室まで電話またはメールでご連絡ください。ただし、2027年1月15日(金)正午以降の欠席連絡は、食費を実費負担していただきます。</p> <p>本授業科目は、広島大学を含む中国地方・広域単位互換ネットワークの大学および北海道大学、京都大学、長崎大学の農学・生物学の基礎知識を持つ学生向けに開講されるものです。外国人の受講者がいる場合は、部分的に英語で説明を行います。</p> <p>【問合せ・連絡先】      広島大学生物学系総括支援室(学士支援担当)      〒739-8528広島県東広島市鏡山1-4-4 TEL 082-424-7915 FAX 082-424-6480  <a href="mailto:sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp">sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp</a>      広島大学瀬戸内CN国際共同研究センターブルーイノベーション部門水産実験所      〒725-0024広島県竹原市港町5-8-1 TEL 0846-24-6781 FAX 0846-23-0038</p>

履修上の注意 受講条件等	主担当教員：(准教授 加藤亜記) katoa@hiroshima-u.ac.jp (特任助教 柴田淳也) jshiba@hiroshima-u.ac.jp
成績評価の基準等	課題50点,発表50点
実務経験	
実務経験の概要と それに基づく授業内容	
メッセージ	本演習は、国立4大学（北海道大学、京都大学、長崎大学、広島大学）の水産系学部による水産海洋実践教育ネットワークおよび教育ネットワーク中国への単位互換提供科目です。そのため、他大学の学生の応募が定員に満たない場合に限り、本学部および他学部の学生に向けて開講します（第4タームの履修登録前に通知）。これらのネットワークでの演習は、おもに他大学学生が自大学にはないフィールド分野について、受講・体験・調査・発表及び学生間の交流などを行う目的で行われます。
その他	本演習は、広島大学の「ひろしま平和共生リーダー育成特別プログラム」の「フィールド演習科目」提供科目です。
すべての授業科目において、授業改善アンケートを実施していますので、回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力しており、今後の改善につなげていきます。	